

DIPL 通信第 171 号をお届けします。

定期試験シーズンですね。課題や部活にばかりに追われ、あっという間に定期試験になってしまった人もいれば、コツコツ計画を立て、落ち着いて試験を迎えた人もいます。「ああ、もう試験だ。全然時間が足りない！2週間前に戻りたい！もっと時間が欲しい～」といくら言っても、すぐに時間は過ぎてしまいます。時間は限られています。「ああしていれば良かった、こうしていれば良かった」と、いつまでも過去にすぎることなく、「今からこれをしよう、あれに挑戦しよう」と、“これからの未来”を大切に過ごして下さい。また、気温の変化が激しく体調を崩す人が増えています。これから定期試験を控えている皆さんは、特に体調管理に気を付けて下さいね。

今号は、勉強という大きな壁に立ち向かっている皆さんに向けてお話させていただきます。

小島裕未

「勉強に向かない・勉強してもなかなか成果が出ない」と 悩んでいるあなたへ

私は3年前、宝塚歌劇団にハマりました。テレビ放送をたまたま見たことがキッカケで、夢中になってしまいました。それまでの私の人生に宝塚と出会うチャンスはなかったのですが、なぜかろくに知りもしないのに「女の人が男の人を演じるなんて、なんか気持ち悪いし、あのド派手なお化粧も変だわ。」とっていました。そんな宝塚を毛嫌いしていた私が、放映される宝塚の公演を夢中になって見て、「素敵だ！面白い！」と逆転したのです。それはとても衝撃的な出会いでした。東京にも専用の劇場があることを知り、私は実際の舞台も観てみたくなりました。チケットの取り方すら何もわからなかったので、インターネット等で色々調べたところ、当日券が朝10時に販売されるという制度があるのを知りました。早朝、恐る恐る劇場に向かうと、そこにはすでに長蛇の列が…。根気強く販売開始まで並びましたが、案の定チケットを買うことはできませんでした。「朝8時から並ぶのでは間に合わないのか。次はもっと早く並ばないと。」と、そこでまた知識が増え、それから何度も失敗し、結果、始発に乗って当日券の列に並ぶようになりました。(残念ながら始発で行っても買えないことはよくあります…) また、当日券の列の前後になった人から、ルールやマナー、チケットの取り方を教えてもらい、今では一人でチケットも取れるようになったのです。(インターネットで調べればチケットの取り方なんてすぐわかるでしょ。なぜ何もわからないの？と思われるかもしれませんが、宝塚のチケットを取るのにはなかなか難しいのです。)しかし、いくら頑張っても毎回必ずチケットが取れるという訳ではなく、涙を呑むことも多くあります。それでも最初の「どうやったら宝塚の公演が観られるのだろう」という状態からは大きく変わりました。

さて、一見勉強とは全く関係がないように思えるこの宝塚の話ですが、勉強に置き換えて考えるといろいろなポイントが見えてきます。「勉強は苦手だ」と毛嫌いしている皆さんは、まだ必死に勉強をしたことがないのに、「英語は苦手なんだ。数学がよくわからない」と言っただけではいませんか。もちろん勉強を本気でやってもいないのに、ある日突然わかるようになる訳がありません。ましてや朝起きたら突然得意教科になるなんて奇跡は起きないのです。また、少しやっただけですぐに「苦手だ、勉強に向いていないんだ！」と判断してしまうのは、とても危険です。勉強の成果がやったらやっただけですぐに跳ね返ってくれば、このような判断はしないと思います。しかし以前にもお伝えしましたが、残念ながら勉強の成果はすぐには出てきません。ちょっと勉強したからといって「問題がスラスラ解ける！」という状況にはならないのです。だからまずは「苦手だ、向いていない」という前に継続して勉強することから始めましょう。

これは今現在必死に勉強を頑張っている皆さんにも同じことが言えます。一生懸命頑張って勉強していても、思うように成果が出ず、ふて腐れてしまいたくなっている子もいるのではないのでしょうか。とても辛いですよ。苦しくて投げたくなってしまうよ。しかし、今投げたてはあの先の目標には絶対に届かなくなってしまうのです。大丈夫！！今のあなたの頑張り（頑張）はしっかりと次に繋がっています。周りの子はちょっと勉強しただけですぐ成果が出たのに、自分は…と思うかもしれませんが、長期的に考えてみると、やはり毎日コツコツ頑張った子の方が知識や経験（解いた問題数）も多く、しっかりとした実力がついています。それに短い時間で覚えたものは忘れやすく、長い時間繰り返し覚えたものは忘れにくくなるものです。定期試験や受験は決して運だけでは乗り切れません。毎日必死に頑張ったという事実、模試の成績が、「これだけ頑張ったのだから、大丈夫」という自信に変わっていくのです。頑張ってもがいているこの時期がなければ、「わかった！この問題が解けるようになった」という“奇跡の瞬間”には出会えないのです。ですから、すぐに成果を求めるのではなく、是非その辛い時期と一緒に耐え抜いてもらいたいと思います。私が“奇跡の瞬間”に出会ったのは中3の1月でした。受験ギリギリに、それまで苦手だった英語の長文が突然読めるようになったのです。不安になるかもしれませんが、今の頑張りが報われるときが必ず来ますよ。

では辛い時期の乗り越え方ですが、「定期テスト前だけ頑張って、あとは何もやらない」のように、頑張る時期と何もしない時期があるのでは、“奇跡の瞬間”には出会えません。毎日継続して勉強することが大切です。単語や漢字の練習、学校の授業後にすぐにワークに取り組む、印を付けた問題にもう一度取り組む、など課題はいくらでも出てきます。それを毎日コツコツと進めていくことが必要です。毎日積み重ねていくことで、最初は大変だったこともいつしか当たり前のようにできるようになるでしょう。そこでまた別の課題を増やしていきます。今までやっていたことを全てやめて次のことをするのではなく、毎日の課題にどんどんプラスしていくのです。「英語がちょっとわかるようになったから、単語の練習をやめて、英語の長文問題をやろう！」では、長文読解に必要な語彙量が増えず、いくら長文問題を解いたって、いつまでたっても英語の長文を読めるようにはなりません。スポーツや、楽器の演奏の最初にウォーミングアップが必要なように、勉強にもウォーミングアップが必要なのです。また、「今これと、これと、これはやっている。あとは何をやったら良いのだろうか。」と思っている子もいるでしょう。そんなときは私たち講師に是非相談して下さい。もちろん普段の授業中に課題やこれをやったら良いというお話はしていますが、少しでも不安や迷いを抱えているなら一緒に解決していきたいと思っています。

「宝塚は先生が好きだから一生懸命調べたりできるんじゃない。勉強との向き合い方とは別物だよ。」と思ったかもしれませんが、私は根本は同じだと思っています。これを読む多くの皆さんは「勉強がしたいから勉強している」のではなく、「大学や高校に進学したいから勉強している」のではないのでしょうか。私も「宝塚の公演が観たいから調べた」のです。決して調べることや勉強することがゴールではなく、その先に目指すものがあるから、必死に頑張らないといけないのです。

ついつい頑張ったらすぐに成果が欲しい！すぐに覚えられる方法が知りたい！など、小さな努力で大きな成果を求めがちですが、勉強にはそんな魔法のやり方は存在しません。先人達も皆、毎日辞書を引いたり、単語を書いて覚えたり…という地道で泥臭い努力をしているのです。現在はインターネットや動画サイトの普及により、以前よりもっと勉強する環境は整っています。しかし「わからない、答えが知りたい」という“もがく時間”が少なくなったが故に、「すぐに成果が欲しい」と我慢ができなくなっているのかもしれませんが。「なかなか成果がでない」辛く苦しい時期、是非そこに一緒に立ち向かって、奇跡の瞬間の先の「新しい自分」に出会いましょう。